



オオバミゾホオズキ

(2006年6月24日 撮影)

6月上旬から7月上旬ごろにかけて、小川の両岸をまるで飾りつけるかのように、たくさん咲きます。泉ヶ岳では、ごく限られた小川の近くに多く咲くほかには、見かけることはありません。

名前の「オオバ」とは「大きな葉」のこと。「ミゾ」とは「溝」で、溝のような場所に多く生えるところから。そして「ホオズキ」ですが、この花の実がホオズキの実に似ているところから、この名がつけました。



花の部分のアップ



ホオズキの実（仙台市博物館）